



アパート・マンションオーナーにとっての太陽光発電事業について

7月1日から太陽光発電を含む、再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタートしたことをみなさまご存知でしょうか。

これを簡単に言うと、「太陽光発電で発電した電力を数十年間決まった価格で買い取りしますよ」と国が保障するという制度です。

買取開始日に、ソフトバンクの孫社長や稲盛京セラ名誉会長が京都にて運転開始セレモニーを行ったり、NTTをはじめ、大手企業がこぞって太陽光発電事業に参入を発表しています。ではなぜ、これだけの企業などが発電事業に取り組むのでしょうか？

答えは一つ。「儲かる事業」だからです。

最近、大手発電パネル設備メーカーの知人と話す機会に、この件を聞いてみました。

例えば、5キロワット(5kw)の太陽光発電パネルを設置する費用は、およそ210万円。(設置場所は東京都で、都から補助金を受けた場合の実質費用負担額)

そこから得られる年間の電力を売ったお金(売電価格)がおよそ21万円。

$21 \text{万円 (年間収益)} \div 210 \text{万円 (初期コスト)} = \text{約 } 10\%$

という感じです。発電量は、曇りや雨が多い年など、多少のばらつきはあるかもしれませんが、発電した電力の購入価格は現状国が保障していることから、ある意味「確定利回り」といっても過言ではないはずです。

最近の日本の国債利回りは、1%以下、定額貯金の金利が0.04%の時代に、確定利回りで10%近く収益が上がる商品は、間違いなくほかに見当たりません。

しかも、来年の3月までに事業を開始していれば、法人の場合、設置費用を全額初年度に一括償却できます。不動産収入の場合、経費が限られているため、法人は特にこの税制優遇面からも非常に有利になっています。

これらのことが、大手企業が太陽光発電事業に参入する理由です。

ちなみにこの電力買取価格に対する費用負担は、私たちの電力料金に賦課されます。

賃貸マンション・アパートの個人オーナーさんや法人で、物件を一棟ごと持っており、陸屋根の場合は利用していない屋上や、切妻や寄棟屋根などは屋根の上に発電パネルを設置することができます。空いている有休土地でも当然設置は可能です。

興味がある場合は、しっかりした設置業者から設置の見積りや、載せた時の発電量がわかる発電シュミレーションを出してもらい、この機会に検討されてみてはいかがでしょうか？

〒104-0061 中央区銀座1-20-5 パレストュディオ銀座8階
独立系FP事務所 gmc グローバル・マネー・コンシェルジュ
TEL&FAX 03(3566)9010